

JIS

スライドファスナ

JIS S 3015 : 2019

(ASFA/JSA)

平成 31 年 1 月 21 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 消費生活技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
(委員)	浅 見 剛 尚	一般財団法人日本文化用品安全試験所
	阿 部 哲 也	一般財団法人製品安全協会
	太 田 秀 幸	一般社団法人繊維評価技術協議会
	金 丸 淳 子	公益財団法人共用品推進機構
	鹿 野 歩 子	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	佐々木 定 雄	一般社団法人日本ガス石油機器工業会
	島 谷 克 史	公益社団法人消費者関連専門家会議
	寺 山 博 子	イオン株式会社
	中野子 礼 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	平 井 郁 子	大妻女子大学
	平 野 祐 子	主婦連合会
	町 田 隆	一般財団法人家電製品協会
	山 口 公 樹	一般社団法人日本オフィス家具協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 33.12.16 改正：平成 31.1.21

官 報 公 示：平成 31.1.21

原 案 作 成 者：全国スライドファスナー協会連合会

(〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 2-1-5 TEL 03-5604-6101)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：消費生活技術専門委員会 (委員長 大瀧 雅寛)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 種類	4
5 品質	4
5.1 外観及び材料	4
5.2 性能	4
6 寸法	7
7 試験方法	7
7.1 試験の一般条件	7
7.2 チェーン横引強度試験	8
7.3 上止部縦引強度試験	8
7.4 開製品片側ストリング上止部縦引強度試験	9
7.5 下止部引裂強度試験	9
7.6 開部横引強度試験	10
7.7 開具箱縦引強度試験	10
7.8 スライダ総合強度試験	11
7.9 スライダ引手ねじり強度試験	11
7.10 スライダロック強度試験	12
7.11 往復開閉耐久試験	12
7.12 洗濯によるファスナ寸法変化率試験	13
7.13 めっき耐食性試験	13
7.14 塗装の耐ドライ性試験	13
7.15 洗濯に対する染色堅ろう度試験	14
7.16 摩擦に対する染色堅ろう度試験	14
7.17 紫外線カーボンアーク灯光に対する染色堅ろう度試験	14
7.18 しゅう動抵抗試験	14
7.19 寸法測定方法	14
8 検査方法	15
9 表示	15
参考文献	16
解 説	17

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、全国スライドファスナー協会連合会（ASFA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS S 3015:2007** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

スライドファスナ

Slide fasteners

序文

この規格は、1958年に制定され、その後5回の改正を経て今日に至っている。前回の改正は2007年に行われたが、その後の安全性要求などに対応するために改正した。

なお、対応国際規格は現時点で制定されていない。

1 適用範囲

この規格は、衣料、袋物などに用いられる一般用のスライドファスナ（以下、ファスナという。）について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 7507 ノギス

JIS B 7516 金属製直尺

JIS L 0842 紫外線カーボンアーク灯光に対する染色堅ろう度試験方法

JIS L 0844 洗濯に対する染色堅ろう度試験方法

JIS L 0849 摩擦に対する染色堅ろう度試験方法

JIS L 1096 織物及び編物の生地試験方法

JIS Z 8703 試験場所の標準状態

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。

3.1

エレメント

テープに取り付けた金属又はプラスチック製のかみ合う部品（図1参照）。エレメントには、単独エレメント及び連続エレメントがある。

3.1.1

単独エレメント

エレメントが一つ一つ独立したものの。

3.1.2

連続エレメント